

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	並木公民館主催事業	所管	教育委員会教育総務部 並木公民館 Tel 2998-5911
-----	-----------	----	-----------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	5,474	人

活動の内容	(何を したか)	①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。							
	活動実績	項目名	主催事業	26 ----- 単位 件	項目名	事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	423 ----- 単位 件	項目名	アンケート結果の分析

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,548	2,504	19,413	57.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	90 ----- 単位 %	95 ----- 単位 %	105.6 ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120712	TEL	2998-5911		
事業コード	並木公民館主催事業		教育委員会教育総務部 並木公民館					
120721		グループ	並木公民館					
開始年度		昭和	58	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	第3次所沢生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則				
	関連・類似事業	文化活動支援事業(社会教育課)、家庭教育推進事業(社会教育課)							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育	中柱	1 人と地域をはぐくむ社会教育の推進	小柱	(3) 地域とともにあゆむ公民館活動の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位		・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においては、その設置目的達成のため、実際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を行うこととされている。								

③事業の内容	目的(何のために、具体的に) 市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	市民					公民館主催講座の延べ受講者数				
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	5,121	人
			平成 19 年度	339,058	人			平成 19 年度	5,474	人
事業の具体的な内容及び実施方法 ①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 ・地域の人材活用・親子のふれあいと共同体験を重視した講座の実施(旧並木東小学校の畑を利用し、地域の指導者により、収穫した野菜を料理し、食育を学び、まさに手作りの講座を実施し、公民館行事の参加も果たす事ができた。) ・広報(翔びたつひろば、公民館だより、チラシ等、講座実施の情報提供につとめた。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		2,478	2,548	2,601	
	決算 (見込み含む)		2,586	2,504		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.80 人) (人) (0.80 人) (人)				
	正規職員人件費		1.20 人	11,040	1.80 人	16,909
	公債費					
	事業費合計		13,626	19,413		
	財源内訳	一般財源	13,436	19,191	2,601	
		国・県支出金				
		受益者負担金	190	222		
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		40.3	57.3		
	利用数一単位あたり(単位:円)		2,660.8	3,546.4		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	主催事業	年間事業数	件	26	26	27	
		事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	アンケート回答件数	件		423	600	
		アンケート結果の分析	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	件		401		
	成果分析	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	目標値		90	90	90
実績					95		実績値の拡大を図る1	
達成率					106		実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益者負担の有無	見直しの必要性
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題		子育て支援事業に関し、地域の保育園等の協力により事業展開をしていますが、さらに児童館、保育園、幼稚園等地域ぐるみで取り組み連携しながら更に充実を図っていきたい。			
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	地域性にあった講座の実施(団塊の世代対象講座)		現在の講座の見直し、継続、拡充等の検討を行い、参加者の満足度を90%にする。	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由 事業の充実に向け取り組んでいますが、現状では人的な問題等、厳しい状況にあり、問題解決のために子育て支援事業においては、地域の各施設(児童館・保育園・幼稚園)との連携、職員体制の充実を図る必要がある。					
評価日 平成20年5月15日 記入者職氏名 館長 佐々木 葉子					

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	412
	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進	施策の方向	4-1-2学習の場や機会の提供
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				